

埼玉佛教

平成25年10月 第196号

平成25年10月25日 発行
 No.196
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 萩野 映明
<http://saibutu.net>
 印刷所 関東図書株式会社



埼玉講話	2
第42回全日本仏教徒会議 和歌山・高野山大会	3
第35回埼玉県佛教徒大会の 開催にあたり	4・5
第65回埼玉県各流 讚佛歌奉詠大会	6・7
▼地区仏教会だより	
・飯能地区佛教会	8
・上尾市仏教会	8
／上尾市仏教会顧問会	8
・妻沼仏教会	9
／妻沼地区仏教会	9
・浦和仏教会	9
／埼玉県佛教青年会	9
▼寺院だより	
・弥勒密寺(さいたま市)	10
会館だより	10
映画ブッダ【ご案内】	11
埼玉佛教文化講座【予告】	11
訃報	12
事務局日誌	12
編集後記	12

埼玉講話 第十二回

「**如実知自心**」
によじつちしん

理事 坂東 隆秀

(深谷・正傳院)

従来から、新聞等で親の子育てに関して、その言動が問い質されるのが、しばしばあります。掲載された二つの事例を示してみます。

ある駅のホームで新幹線を待っている、足元にサンドイッチとお握りが飛んできた。両方とも買ったばかりらしく、透明のラップで包んだままだ。驚いて飛んで来た方を見ると、学齢前の男の子が両親の前で泣き叫んでいる。「あんなもん、食べたくない。あんなのイヤッ。あんなもん、ゴミ。ゴミッ！」驚いた。ゴミだから放り投げ、足元に飛んで来たのだろう。さらに驚いたのは、両親がこの子

を一切叱らず、「ごめんごめん。じゃ、のり巻きならいいかな？一緒に食べよう。」という光景です。

次の事例は、ある小学校教師の話から。小学校教師時代の教子に二十年前ぶりに会う機会があり、痛い思い出がよみがえったのです。三年生のクラスで人気アニメのカードが消え、彼が犯人だと疑われた。日頃のやんちゃぶりから私も彼を疑ってしまったが、その日のうちにカードを失くした子の勘違いだとかかったのです。今回それが話題となり、恐縮すると、彼は、家で先生や友達のことを責めたら、両親に「疑われるような事をしてきたあなたの責任」と逆にたしなめられたのです。あれ以来、何か起きると彼はまず自分自身を問うようになったのです。ご両親に改めて頭が下がりました。

我が子が濡れ衣を着せられるという腹立たしい事態を子育てのチャンスに変えたのです。その当時、ご両親に対応のまずさを先生がわびた際に、ご両親の言われた言葉は「子どもを良くしたい思いは、親も教師も同じです。私たちと先生は同志です。」一人で全部背負った気になり謙虚さを失っていたことを反省しました。ご両親の笑顔に肩の力が抜け、前を向けたのを覚えています。という内容でした。

この二つの場面を考える時、思い出す言葉が大日経の『如実知自心』です。実のごとく自心を知る。ありのままの己の心を知るといふ意味で、簡単なようで、大変奥深い教えであります。ありのままの真実を知ることが人生を輝かせる言動が生まれてきます。あなたは、どちらの言動をとりますか。

※この記事は、「さいたまグラフ」平成24年7月号に掲載されました。

鉢形山 城立寺

厄除本庄薬師如来
開運大黒尊天

住職 加藤 玄静

〒367-0052 本庄市銀座3-4-7

TEL 0495-24-5544

FAX 0495-21-7366

県佛教会常務理事
浄土宗議会議員

蓮馨寺
れんけいじ

桑原 恒久

TEL 049(232)0043

FAX 049(232)0676

〒350-0066
川越市連雀町7-1



金剛峯寺奥殿にて撮影

16日の開会式では、高野山真言宗、松永有慶管長を皮切りに、全仏会長の半田孝淳天台座主による開会挨拶が行われ、半田殿下は、とても97歳とは思えない力強い声が印象的であった。開会式終了後、メイン会場の黎明館では、各宗派による法要



(全仏副会長) が、大会実行副総裁として出席した。

翌17日は『宗教と環境―自然との共生』をテーマにシンポジウムが行われた。続く閉会行事において、萩野映明会長は、平成27年度開催予定地となっている愛媛県の代表に、全日本仏教会の会旗を手渡しし、会旗継承の任を全うした。この大会には当会から、坂東

ならびに御詠歌が奉納された。このほか、山内に点在するサブ会場では坐禅体験や写経、声明ライブに山内ナイトツアー等が開催された。



右、高野山真言宗・松永有慶管長

(=^・^=) 武州寄居十二支まいり (=^・^=)

ご存知ですか？あなたの十二支の守り本尊を

仏教文化の町・寄居

ご家族お友達に長寿・笑顔・経済力を

☆☆ 武州寄居七福神 ☆☆



隆秀理事ほか事務局2名が参加した。

第42回全日本仏教徒会議 和歌山・高野山大会

第42回全日本仏教徒会議が、平成25年10月16日(水)～17日(木)の会期で高野山大学黎明館をメイン会場に、総本山金剛峯寺ほか高野山内各所をサブ会場として開催された。
大会に先立ち15日(火)には、役員交流懇親会が、金剛峯寺奥殿にて開催され、萩野映明会長

第35回埼玉県佛教徒大会

平成25年11月18日(月)、第35

回埼玉県佛教徒大会が鴻巣市仏教会主管により、クレアこうのすを会場に開催されます。今年度のテーマは「心豊かに生きる」。記念講演は、講師に愛知県の曹洞宗専門尼僧堂堂長の青山俊董師を招き、演題「今ここをどう生きる―勅題「立つ」によって―」をご講演いただきます。アトラクションは、智山雅楽会による雅楽演奏を予定しています。

鴻巣市の紹介

鴻巣市は埼玉県のほぼ中央、やや東側に位置し、南西部を秩父山地を源流とする荒川が流れ、関東ローム層や荒川沖積層からなる肥沃な土地で、気候にも恵まれ、花卉や果樹などの栽培に適しています。そして、江戸時代中期頃から雛人形作りが盛ん

なことから、「花と人形の街、鴻巣」と言われております。

地名の由来は、古代、武蔵(天邪志)国造(むさしくにのみやつこ)である、笠原直使王(かさらはのあたのおみ)が、現在の鴻巣市笠原のあたりに住み、かつてこの地に天邪志国(むさしくに)の国府が置かれたことから「国府の州」が「こうのす」と転じ、後に「鴻(こうのと)り」伝説から「鴻巣」の字を当てるようになったと伝えられています。昭和29年に1町5カ村(鴻巣町、箕田村、田間宮村、馬室村、笠原村、常光村)が合併して県内17番目の市として誕生した本市は、江戸時代には中山道の宿場町として栄え、380余の伝統を誇る「ひな人形のまち」として、また近年では「花のまち」としても全国にその名が知られています。県在

住の方ならば、「運転免許センターがあるところ」と言えば、お分かりの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。平成17年10月1日に、吹上町、川里町と合併し、現在に至ります。

日本一

鴻巣市には8つの日本一があります。①荒川の川幅が2537[㍎]②水管橋の長さが1100・95[㍎]で共に日本一。③このす花火大会「鳳凰乱舞」では、1分あたりの尺玉以上の花火打上数の1分間平均が約75・5発で日本一。④「鴻巣びつくりひな祭り」に登場するピラミッドひな壇の高さが7[㍎]、31段飾りで日本一。

花卉栽培が盛んな鴻巣市は、⑤ポピーの栽培面積が12・5[㍎]、⑥サルビアの出荷量が年間90万本、⑦プリムラの出荷量が年間272万本、⑧マリーゴールド出荷量が年間138万本【平成18年度実績】を誇ります。

鴻巣市明用の荒川河川敷、コ

スモスアリーナふきあげ周辺は約1000万本のコスモスが咲き誇り、今年も、10月には「コスモスフェスティバル」が開催されました。薄ピンク色を中心に、珍しい黄色のコスモスも見ることができ、また、各ステーションイベントやB級グルメコンテストなどで盛り上がりました。近くには日本一長い真つ赤な水管橋、晴れた日は、遠くに秩父連山や富士山を見ることが出来ます。

グルメ

昨年、綾瀬川左岸公園(草加市)にて、第10回埼玉B級グルメ王決定戦が開催され、県内36グルメが集結。各地域自慢の当地グルメが地元威信をかけて激突。強豪ひしめく中、「このす川幅うどん」は堂々の3位を獲得。川幅日本一にちなみ、麺の幅が8センチを超える川幅うどんをはじめ、幅広の商品を総じて、「このす川幅グルメ」と言います。

第35回埼玉県佛教徒大会

《大会テーマ》
『心 豊かに生きる』

入場無料

日時 **平成 25 年 11 月 18 日(月)**
開場 (受付開始) 12:00・開会13:00・閉会16:00 (予定)

会場 **クレアこうのす 大ホール**
[〒365-0032 鴻巣市中央29-11/電話048-540-0540]

《プログラム》

開会行事

- ①開会のことば 総合司会 穂積 慶範
- ②記念法楽《開経偈、三帰依文、般若心経》
- ③大会会長挨拶 (一財)埼玉県佛教会会長 萩野 映明
- ④来賓祝辞
- ⑤諸連絡

記念講演

演題 『今ここをどう生きる』
—勅題「立つ」によせて—
・愛知県 曹洞宗専門尼僧堂堂長
青山^{あおやま} 俊董^{しゅんどう} 先生

記念公演

『雅楽奏楽』
・智山雅楽会 (真言宗智山派僧侶)

閉会行事

- ①閉会のことば 実行委員長 馬場 知行

※内容は変更になる場合があります。

第65回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会

◆平成25年9月10日(火)、埼玉会館大ホールにおいて埼玉県各流讃佛歌奉詠大会が開催された。本大会は今年で第65回を迎える大会となった。参加者は約800名、参加支部・講は別掲の通り。例年、参加者には参加の記念としてバッジを配布している。バッジの色は佛旗に由来しており全5色。今年の色は白色。

◆浄土宗

◆真言宗豊山派

◆曹洞宗

◆真言宗智山派

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範

◆密厳流遍照講指導師範



◆賀儀一覽(順不同)

ありがとうございます。

◆鴻巣市・勝願寺 藤田得三様

◆さいたま市・東泉寺 河野亮玄様

◆川口市・密蔵院 山口正純様

◆川口仏教会様

◆狭山市・慈眼寺 西村宗洋様

◆千葉県・千光寺 林智宏様

◆北本市・壽明院 大護俊光様

◆運営協力(順不同)

机・椅子のご提供、ありがとうございました。

◆大應寺様(富士見市)

◆遍照院様(上尾市)



◆参加支部・講一覽

敬称略

参加支部・講名(市町村・流派)

(プログラム順・初：初参加・見：見学)

紅組

埼玉第二教区寺庭婦人会

(戸田・密蔵)

埼玉第十二教区寺庭婦人会

(坂戸・密蔵)

埼玉第八教区寺庭婦人会

(熊谷・密蔵)





埼玉第六教区寺庭婦人会

〔加須・密厳〕

埼玉第一教区寺庭婦人会

〔川口・密厳〕

観福寺支部

〔白岡・密厳〕

多福院支部

〔戸田・密厳〕

大智寺支部

〔坂戸・密厳〕

三学院支部

〔蕨・密厳〕

馬頭院支部

〔杉戸・密厳〕

石上寺支部

〔熊谷・密厳〕

善徳寺支部

〔久喜・密厳〕

龍福寺支部

〔坂戸・密厳〕

真光寺支部

〔熊谷・密厳〕

円蔵院支部

〔さいたま・密厳〕

遍照院支部

〔久喜・密厳〕

今泉山支部

〔吉見・密厳〕

寶幢寺支部

〔志木・密厳〕

正法院正詠会

〔久喜・密厳〕

曹洞宗埼玉県第一宗務所寺族会

〔熊谷・梅花〕

西福寺支部

〔三郷・豊山〕

宝性寺支部

〔さいたま〕

法恩寺支部

〔越生・密厳〕

勝軍寺支部

〔さいたま・密厳〕

円心寺支部

〔本庄・吉水〕

上尾遍照院支部

〔上尾・密厳〕

大光寺支部

〔久喜・密厳〕

泉蔵院支部

〔草加・密厳〕

埼玉第一教区智山青年会

〔川口・密厳〕

清蔵院支部

〔越谷・密厳〕

密蔵院支部

〔川口・密厳〕

明星院支部

〔桶川・密厳〕

白組

埼玉第十・十一教区寺庭婦人会

〔坂戸・密厳〕

埼玉第四教区寺庭婦人会

〔春日部・密厳〕

埼玉第九教区寺庭婦人会

〔皆野・密厳〕

埼玉第三教区寺庭婦人会

〔鴻巣・密厳〕

埼玉第五教区寺庭婦人会

〔久喜・密厳〕

真蔵院支部

〔宮代・密厳〕

龍蔵山支部

〔鴻巣・密厳〕

錫杖寺支部

〔川口・密厳〕

大榮寺支部

〔坂戸・密厳〕

迎盛院支部

〔久喜・密厳〕

法恩寺支部

〔越生〕

宝性院支部

〔越生・密厳〕

宥勝寺支部

〔杉戸・密厳〕

吉祥院支部

〔本庄・密厳〕

大應寺支部

〔富士見・密厳〕

長田寺梅花講

〔川越・梅花〕

普門寺支部

〔美里・豊山〕

真宗寺支部

〔熊谷・密厳〕

廓信寺支部

〔さいたま・吉水〕

埼玉第二教区智山青年会

〔戸田・密厳〕



高輪寺支部

〔久喜・密厳〕

蓮花院支部

〔加須・密厳〕

医王寺支部

〔門前〕

三光院御詠歌の会

〔さいたま・密厳〕

大淵寺講・長福寺講

〔朝霞・密厳〕

光明院支部

〔秩父・梅花〕

常楽寺支部

〔川口・密厳〕

大串山支部

〔久喜・密厳〕

西福寺支部

〔吉見・密厳〕

清浄寺

〔川口・吉水〕

永楽寺支部

〔吉川・吉水〕

〔深谷・密厳〕

〔深谷・密厳〕

〔深谷・密厳〕

〔深谷・密厳〕

地区仏教会だより

各流讃佛歌奉詠大会

飯能地区佛教会

平成25年6月18日(火)、飯能地区佛教会(小川廣明会長)は、飯能市民会館大ホールにて第28回・各流讃佛歌奉詠大会を開催致しました。本年は、曹洞宗梅花流が7講、天台宗叡山流と真言宗密厳流がそれぞれ3講ずつ。そして、臨済宗鎌倉流が1講と、合わせて14講のご参加となりました。

大会当日、午前9時に集合し、事務局と有志の僧侶らによって舞台設営などの準備が始まりました。10時に各講の受け付け開始。10時30分、開会式となりました。開会式では、小川会長が「日頃、皆さんには正しい信仰に基づき、和の心をもって明るい社会の実現のために日々精進

をしていただいています。本日は、その成果を発表する良い機会と思つています。市民会館の中に、皆さんの優しい鈴鉦(すずのね)とお唱えがいつぱいに響きわたることを願っています。」などと挨拶をし、登壇奉詠が始まりました。午前中に7講の奉詠が終了。12時〜13時の休憩の後、法要が行われました。小川会長をお導師として、般若心経などの読誦、寺族の方々による三宝御和讃のお唱えが行われ、会場はしばし厳かな空気に包まれました。会長の香語では、過去1年間の物故者に対するご冥福と、有縁無縁諸精霊へのご回向が詠み上げられました。引き続き午後の奉詠です。残り7講の奉詠が終了し、小川会長から各講に感謝状が贈呈され、龍泉寺の有馬壽雄住職に講評のこたばをいただき、盛会のうちに閉会となりました。また当日は、ロビーで募金の受付が行われ、集まりました浄財は飯能市、日

高市の社会福祉に活かされる予定です。今回もホール内が若干蒸し暑く感じられましたが、不調を訴える方もなく無事に大会を終えることが出来、安堵しております。また、当日は早朝から、多数のご寺院様方にご協力いただき大会運営を支えていただきました。この場をお借りして、厚く御礼申しあげます。

参加寺院は次の通りです。

(順不同・敬称略)

- 梅花流…大蓮寺、廣渡寺、法光寺、淨心寺、寶藏寺、龍泉寺、楞嚴寺。
- 叡山流…彰福院、満願寺、福正寺。
- 密厳流…明光寺、清泰寺、寺庭婦人会。
- 鎌倉流…金錫寺。

(報告 飯能地区佛教会
事務局・白井 祐一)



第28回流灯会・放生会

上尾市仏教会
上尾市仏教会顧問会

平成25年8月18日(日)上尾市仏教会(稲田碩哉会長)、上尾市仏教会顧問会の共催により、上尾市文化センター前を流れる芝川で先祖供養の灯籠流し、生物供養のどじょう放流が行われた。当日は天気にも恵まれ、日曜来場者もありました。
(上尾市仏教会顧問会事務局)

戦争殉難精霊

慰霊祭と法話の集い

妻沼地区仏教会

平成25年9月18日(水)、熊谷市妻沼の歓喜院(院主・鈴木英全師)において「戦争殉難精霊慰霊祭と法話の集い」が妻沼地区仏教会主催にて開催された。

妻沼地区仏教会は、妻沼仏教会(小杉年常会長)の傘下組織である。先代院主の時から始めたというこの慰霊祭には20名程

の戦没者遺族が参列し僧侶による読経の中、焼香が行われた。

法要に続いて「法話の集い」が行われた。今年も藤井壽雄師(吉川市・清浄寺住職・本会評議員)が『願いに生きる』を演

題に約40分にわたる法話をした。法話の中で藤井師が好んでい

るという「上り坂には上り坂の景色、下り坂には下り坂の景色」という一文を挙げた。その文を人生にあてはめて、「調子

が良く順調な時が上り坂。反対に、悲しい時、辛い時、どうしようと思んでいる状態が下り坂。下り坂とは言っても、そこには

上り坂の状態では見えない下り坂の景色がある。つまり、苦しい時に初めて見える世界もある。それは、上り坂の時には見えな

かった景色。人の心のありがたさや、おもしろい、励ましの一言がこんなにも嬉しいものなのかと、自分が下り坂の時に初めて

きづく。そして、他人が下り坂の状態にある時、自分も同じ



経験をしていると、共感が生まれるもの。上り坂にも、下り坂にも決して無駄な時間は無い。心よりどころは仏様の教え

だったことに気付かせていただく。」このことは、我々が人生を送る中で忘れてはいけない大切なこと。

「日々、ありがとう、おかげさまの暮らしをしていこうではありませんか。」と話を結んだ。

(事務局・小池)

梵字勉強会

浦和仏教会

埼玉県佛教青年会

平成25年9月27日(金)、浦和仏教会(鎌田亮宣会長)と埼玉県佛教青年会(三浦清志会長)主催の梵字勉強会が埼玉佛会館を会場に開催された。講師には、現代密教界における梵字の第一人者とされ、さいたま市永福寺住職の児玉義隆師を招き開催された。参加者は10名。



師 藤井壽雄先生



寺院だより

平成25年7月27日(土)〜8月4日(日)、さいたま市岩槻区の岩槻大師・弥勒密寺(智山・上村正剛師)で史上最大の翡翠原石から彫られた玉仏、大翡翠釈迦牟尼仏が奉安され、無料公開された。

上村師は、この世界的大イベント開催にあたり、県内に広く知らしめようと、埼玉県庁、市役所、区役所と考え得る行政の各部署を駆け巡ったが「宗教」という厚い壁に阻まれ、日頃、縦割と呼ばれる行政が、県から地域自治体まで見事に一体化して、一辺倒の対応だったと苦言を呈した。とはいえ、さいたま市長をはじめ、県議会議員や国会議員の方々もご参拝された。広報活動が充足しないまま、時間だけが空しく流れたが、山内関係者による人海戦術でチラシを配布していくと、次々に理解



者が現れ、手元のチラシが瞬く間になくなっていくという。開催が決まったのも「仏縁」だが、宣伝活動が急速に広まったのも「仏縁」だと住職は語った。公開期間中、お釈迦様の前でフラダンス、馬頭琴演奏、バナナのたたき売り口上、手品等、プロアマ問わず日々の研鑽の成果が奉納披露された。また、境内には屋台が軒を連ね、スリランカの物産品や翡翠で作られたアクセサリー等、9日間で数万人を超える人達の参拝があったとのこと。

(事務局・小池)

会館だより

平成25年9月2日(月)、会館入口の唐破風屋根と柱の黒ずみが目立ってきたため、あく洗いとコーティングを実施。落慶當時を彷彿とさせる外観となった。また、木の枝が電線近くまで伸び、交差点付近の見通し悪化や、歩行の妨げになるなどしたため、シルバー人材に剪定を依頼。そして、北東庭のモミジは枯れ、倒木の可能性があるということので伐採した。



新年賀名刺広告

について

平成26年1月初旬に発行予定の「埼玉佛教」新年号に名刺広告を左記の通り募集いたします。皆様のご協力をお願い致します。

記

サイズ 43mm(横)×61mm(縦)
金額 一万円

申込方法 連絡先を明記の上、原稿をFAX【048(864)6649】又は郵送にて、事務局までお送りください。後ほど事務局から確認の連絡を致します。過去の年賀名刺広告と同じ場合は、お電話でも承ります。
【発行後、掲載紙と振替用紙をお送り致します】

申込先 埼玉県佛教会事務局

〒330-0063

浦和区高砂4-13-18

☎048(861)2138



特別前売鑑賞券のご案内

全3部作の第1部が、平成23年5月28日に公開された、映画「手塚治虫のブッダ—赤い砂漠よ！美しく—」の続編「BUDDHA 2 手塚治虫のブッダ—終わりなき旅—」が平成26年2月8日から全国ロードショーとなります。仏教の祖であるブッダの思想は、様々な問題を抱えた現代社会にこそ発信されるべき、重要な価値を内包しております。

つきましては、多くの方にご鑑賞いただきたく、特別前売鑑賞券をご案内いたします。1枚あたり1,000円（当日一般価格1,800円、劇場窓口販売前売券価格1,300円）となっております。

【お申込み先】

埼玉県佛教会事務局【☎048-861-2138】
まで、お気軽にお問い合わせください。

【開催予告】 第6回 埼玉佛教文化講座

入場無料・要参加申込

開催 **平成26年2月19日(水)**

会場 埼玉会館 [さいたま市浦和区高砂4-13-18]

講演 『心さわやか、じつに楽しい(仮)』

※詳細は現在、調整中です。内容は変更になる場合があります。

講師 おお やぶ **大藪** せい さい **正哉** 先生 (中野区・曹洞宗天徳院住職)

《講師プロフィール》

昭和7年(1932年)東京生まれ、東京教育大学文学部助教授、筑波大学歴史人類学系教授を務める。その他、日本学術会議歴史学連絡協議会会員などを歴任。国立歴史民俗博物館評議員。福祉施設への援助活動を続けながら、「厄年の人は厄除け祈願のお金を障害のある方をお世話している施設に贈って、厄をみんなで分け合おう」という提唱をし、人のために役立つ現代的「厄払い運動」をおこなっている。

★開催日程・参加申込方法など詳細につきましては、12月頃に埼玉県佛教会のホームページ等でお知らせ致します。県佛ホームページアドレス…<http://www.saibutu.net/>

計報

お悔やみ申し上げます。

平成25年7月

25日 越谷市浄光寺(豊山)

染谷 秀雄 師(64歳)

26日 蓮田市林昌寺(曹洞)

佐枝 清秀 師(76歳)

8月

1日 久喜市正法院(智山)

蓮見 行全 師(82歳)

県佛理事

8日 伊奈町清光寺(天台)

坂戸 公修 師(61歳)

「埼玉同宗連」委員

31日 行田市常慶院(曹洞)

永平 宏道 師(76歳)

9月

26日 幸手市常光寺(天台)

角田 良禪 師(51歳)

事務局日誌

平成25年7月

27日▼大翡翠仏日本展(〜8月)

4日/岩槻・弥勒密寺)

30日▼「埼玉佛保」夏季研修会(〜

31日・宮城県松島温泉)

8月

13日▼事務局お盆休み(〜15日)

21日▼「全仏」広報委員会(明

照会館)金子事務局長

26日▼臨時教化委員会・奉詠大

会打合せ会(埼玉佛会館)

9月

2日▼埼玉佛会館・向拝、木部あ

く洗いコーティング施工

(〜4日)

5日▼「埼玉佛青」写仏

10日▼第65回埼玉県各流讃佛歌

奉詠大会(埼玉会館)

11日▼「解放同盟」幹事会(解

放センター)

12日▼「全仏」全国仏教徒会議

記念大会準備委員会(明

照会館)金子事務局長

13日▼美里・真東寺訪問(萩野

会長、深谷専務、加藤常

務、金子事務局長)

18日▼妻沼仏教会・戦没者追悼

慰霊祭・記念法話(事務

局・小池)

20日▼奉詠大会事務局反省会

(深谷専務、事務局)

27日▼「浦和仏教会・埼玉佛青」

梵字勉強会

10月

10日▼「埼玉同宗連」役員会/

第38回研修会(埼玉佛会館)

15日▼「埼玉佛青」写仏

16日▼全日本仏教徒会議和歌

山・高野山大会(萩野会

長、金子事務局長)〜17

日)

28日▼「埼玉同宗連」現地研修

会(富士見集会所)

編集後記

7月、世界遺産に登録された富士山に初挑戦。夜間、山小屋に叩きつける大粒の雨と雷鳴に自然の驚異を感じ、天に一番近い山頂は濃霧に強風が吹き荒れる極寒地獄の様相。8合目まで下山すると穏やかな陽の光の中、眼下には雲海が広がり、身も心も穏やかに。地に近いところが極楽と感じた登山でした。(鯉)

〒330-0052
さいたま市浦和区
本太一―四二―二

天台宗
延命寺

住職 **河野 亮仙**

電話
○四八(八八二)六三九〇番
FAX
○四八(八八五)三六六六番